

令和2年度

教育委員会点検・評価報告書

津幡町教育委員会

目 次

1	趣旨	1
2	点検・評価の対象	1
3	点検・評価の方法	1
	(1) 自己点検・評価	
	(2) 外部評価委員の知見の活用	
4	令和2年度教育委員会重点施策	2
5	自己評価・点検シート	4
6	外部評価委員の意見	18
	資料	19

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、津幡町教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに、ホームページにて公表しております。

教育委員会の活動等について町民への説明責任を果たすとともに、個々の事務・事業について検証し改善を図りながら、本町の基本理念である『ふるさと「つばた」を愛し、未来を拓く心豊かな人づくり』の実現に向け、教育の充実と振興を目指すことを目的としています。

2 点検・評価の対象

令和 2 年度の教育委員会の主な施策・事業を対象としています。

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検・評価

津幡町教育振興基本計画を踏まえた「令和 2 年度津幡町教育委員会の重点施策」に基づき、実施した施策・事業について点検・評価を行います。

■自己評価の判断基準

評 価	基 準
A	目標を十分達成している
	(施策・事業を計画通り実施し、著しい成果が得られた)
B	目標を達成している
	(施策・事業を計画通り実施し、ほぼ想定通り成果が得られた)
C	目標達成に向けて課題がある
	(施策・事業を実施したが、想定通りの成果が得られなかった)

※評価はBを基準とし、それ以外（A・C）とする場合は、評価シートの「実績・今後の方向性」欄への記載にあたり、課題等の具体的表現に努めています。

(2) 外部評価委員の知見の活用

津幡町の教育に関して下記の外部評価委員から、教育委員会の自己点検・評価結果に対するご意見をいただき、本書に掲載します。

外部評価委員

委員長	川村 敏幸
副委員長	田中 正隆
委員	中村 祐介
委員	太田 由紀
委員	北嶋 由紀子

4 令和2年度教育委員会重点施策

基本目標1 郷土の文化や風土を学び、国際社会に通じる人づくり

- (1) ふるさと意識の醸成と世代をつなぐ郷土文化の継承
 - ① 津幡ふるさと歴史館を拠点とした郷土愛を醸成する学習機会の創出と未来に向けた歴史的資料の収集
 - ② 歴史・文化遺産を活用した町の歴史文化や観光資源の積極的な情報発信
- (2) 国際理解教育の推進
 - ① 中学生海外派遣交流事業の実施と中学校における姉妹校交流学习の推進
 - ② ALT・CIRとの交流を通じた幼児児童の基礎的英語コミュニケーション能力の育成
 - ③ 石川工業高等専門学校と連携した国際理解教育の推進
- (3) 国際交流活動と多文化共生事業の推進
 - ① 国際交流ボランティア等を活用した事業の充実
 - ② 広域的な国際交流活動の推進

基本目標2 確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人づくり

- (1) 児童生徒の学習環境の充実
 - ① 教育センター事業の充実
 - ② 小中学校におけるICT機器の整備促進とプログラミング教育の推進
 - ③ 並行読書用図書等を活用した児童生徒への読書環境の充実
- (2) 教職員の指導力向上
 - ① 児童生徒一人一人の学力分析に基づいたきめ細かな指導
 - ② 学力向上、指導力向上に向けた推進体制と学習環境の充実
 - ③ 新教育課程の円滑な実施のための教員研修の充実
 - ④ 小学校から中学校へとつながる英語教育の推進
- (3) 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携推進
 - ① 子どもの育ちと学びをつなげる幼・保・小・中連携の推進
- (4) 共生社会形成のための特別支援教育の推進
 - ① 児童生徒一人一人の教育的ニーズに配慮した特別支援教育の推進

基本目標3 道徳心をはぐくみ、心豊かで活力のある人づくり

- (1) 子どもたちの健やかな心と体の育成
 - ① 家庭・地域とともに児童生徒の健やかな育ちをめざす心の教育の推進
 - ② 考え、議論する道徳教育の推進
 - ③ いじめを見逃さない風通しのよい学校づくり
 - ④ 児童生徒の体力と運動能力の向上につながる体育活動の推進
- (2) 青少年の健全育成と青少年を取り巻く環境の整備
 - ① 学校における生徒指導の充実と関係機関と連携した児童生徒支援の強化
 - ② 青少年育成センターと関係機関が連携した青少年の健全育成活動の充実
 - ③ 郷土愛の醸成とコミュニケーション能力を向上させる取組の推進

基本目標4 安全で安心できる教育環境づくり

- (1) 教育環境及び教職員の労働環境の向上
 - ① 校務支援システムや外部人材の活用
- (2) 安全・安心な教育環境の整備
 - ① 計画的な教育施設の修繕
 - ② 安全・安心な学校給食の提供と運営の効率化の推進

基本目標5 学びと創造に満ちた社会環境づくり

- (1) 地域の教育資源を生かした生涯学習の推進
 - ① 多様化する住民のニーズに応える生涯学習の推進
- (2) 公民館を拠点とした社会環境づくりの推進
 - ① 関係機関と連携した運営と機能強化
- (3) 豊かな情操を養う芸術文化活動の充実
 - ① 地域の文化芸術団体との協働による子どもから大人まで参加できる芸術文化活動の充実
 - ② 社会教育施設を拠点とした芸術文化の普及と活動の推進
 - ③ 安全で快適な文化会館の利用のための計画的な施設整備の実施
- (4) 良質な図書館サービスの推進
 - ① 読書に親しむ機会の提供と読書環境の整備促進
- (5) まちなか科学館を拠点とした科学教育の推進
 - ① 科学に関する知識の普及・啓発の推進及び施設機能の再整備
 - ② 企業や石川工業高等専門学校等の高等教育機関と連携した科学教育の推進

基本目標6 スポーツを通じた地域の活性化と健康・体力づくり

- (1) スポーツ活動を通じたコミュニケーションづくりの推進
 - ① スポーツ活動とおした相互交流及びコミュニケーションづくりの推進
 - ② (一社)津幡町体育協会と協働した生涯スポーツの普及と地域づくりの推進
- (2) スポーツ団体の活動支援や運営体制の整備推進
 - ① (一社)津幡町体育協会と協働したスポーツクラブの育成と活動支援及び指導者の養成
 - ② 計画的なスポーツ施設の整備
- (3) 地域に根ざしたスポーツの振興
 - ① 伝統スポーツを生かした地域交流の推進

基本目標7 地域と共に歩む絆づくり

- (1) 家庭教育の充実と推進
 - ① 家庭教育力の向上の取組
- (2) 地域コミュニティづくりの推進と社会教育の充実
 - ① 関係機関や地域住民との連携・協働による地域コミュニティづくりの推進
 - ② 土曜学習等による地域の人々との交流及び学習活動の推進
 - ③ 地域の実情に応じた学校支援活動の充実

5 自己評価・点検シート

教育委員会の活動	活動概要	実績・今後の方向性	評価
(1)教育委員会議の開催と運営	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会（12回）開催 	<p>毎月1回の定例会を開催した。個人情報等取り扱いに配慮すべき内容を含む資料以外は極力事前配布に努めた。</p> <p>今後も計画的な会議の開催を推進し、効果的な会議の運営に努める。</p>	B
(2)教育委員会活動の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会活動の町ホームページへの掲載 	<p>町ホームページに、「令和2年度教育方針」「教育委員会点検評価報告書（令和元年度実績）」、2月15日に開催された総合教育会議の議事録、教育委員会議（全12回）の会議録等を掲載し、教育委員会活動について広く情報発信を行った。</p> <p>今後も積極的な情報発信に努め、教育委員会の情報を的確、迅速に提供していく。</p>	B
(3)教育委員会と町長部局との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議の実施（1回） 	<p>教育委員会における重要事項を議題とし、2月に開催した。</p> <p>町と教育委員会が意思疎通を十分に図り、教育施策の方向性を共有することで、より一層民意を反映した教育行政が推進できるよう努める。</p>	B
(4)教育委員の自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会・研究協議会への参加 ・先進地等への視察（中止） 	<p>県教委連が実施した研修会に参加した。例年実施している町単独の視察研修、河北郡市教委連が実施する研修会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p> <p>近々に迫った課題から将来を見越した事業までを研究し、地域の実情に応じた教育振興を図るよう日々研鑽する。</p>	B
(5)教育委員による学校及び教育施設の状況把握	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校・幼稚園訪問（12回） 	<p>小中学校・幼稚園を訪問し、学校長等との意見交換を行い、実際に児童生徒等の様子や学校施設等の整備状況を確認することにより、各学校・幼稚園の現状や課題及び成果を把握した。</p> <p>今後も学校・幼稚園との連携を図り、学校教育の効果的な支援に努める。</p>	B

重点施策		取組	実績・今後の方向性	評価	
1 郷土の文化や風土を学び、国際社会に通じる人づくり	(1) ふるさと意識の醸成と世代をつなぐ郷土文化の継承	①津幡ふるさと歴史館を拠点とした郷土愛を醸成する学習機会の創出と未来に向けた歴史的資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座（8回、延373人参加） ・津幡ふるさと歴史館及び歴史民俗資料収蔵庫での見学受入 ・子ども歴史民俗講座の実施（7回、延205人参加） 	<p>県埋蔵文化財センターと共同での出前講座を小学校6校で行い、地域出土の埋蔵文化財に触れる機会を設け、文化財を身近に感じられる取り組みを行うことができた。また、スポーツ推進係と共同で町の伝統スポーツである相撲の歴史についての出前講座を小学校1校で開催した。</p> <p>津幡ふるさと歴史館及び歴史民俗資料収蔵庫において小学校8校の見学受入を行った。また津幡ふるさと歴史館において子ども歴史民俗講座を行い、学習機会の創出を行った。</p> <p>将来の活用に向け、30年前の地図作成用航空写真や、各種民俗資料など、資料の収集に努めた。</p>	B
		②歴史・文化遺産を活用した町の歴史文化や観光資源の積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁補助金などを活用した地域文化遺産の活用 ・町民大学などでの情報発信 ・町史跡「鳥越弘願寺跡」の測量調査 	<p>文化庁の補助金を活用して、地域に根付く伝統芸能「獅子舞」の用具の整備等を行い、円滑な事業推進に寄与した。</p> <p>町民大学などで、俱利伽羅峠や北国街道など特色ある津幡町の歴史を町民に伝えた。</p> <p>町史跡「鳥越弘願寺」の測量調査を行い、今後の発掘調査に資する有益な調査結果を得た。</p> <p>地域の活性化につながる文化遺産の掘り起こしを進めていくとともに、より魅力的な方法での情報発信を模索していく。</p>	
	(2) 国際理解教育の推進	①中学生海外派遣交流事業の実施と中学校における姉妹校交流学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生海外派遣交流事業（中止） ・姉妹校交流推進事業（中止） 	<p>新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、令和2年度の津幡町中学生海外派遣交流事業、及び姉妹校であるオーストラリアのノーザンビーチズ・ステイト・ハイスクール受入事業の実施を中止した。</p> <p>事業内容について、町広報や事後報告会、中学校文化祭、英語スピーチコンテストなどを利用して、広くアピールしていく。また、中学校2校と姉妹校であるノーザンビーチズ・ステイト・ハイスクールとの間において、メールや動画などを通じた日常の学校交流の推進に努める。</p>	B
		②ALT・CIRとの交流を通じた幼児児童の基礎的英語コミュニケーション能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜学習プログラム「つばたkidsイングリッシュクラブ」（中止）、「小学生イングリッシュデイキャンプ」（中止） ・英語学習動画配信 	<p>小学生を対象とした土曜学習プログラム「つばたkidsイングリッシュクラブ」「小学生イングリッシュデイキャンプ」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。新たに、国際交流推進員（CIR）、外国語指導助手（ALT）等による英語学習動画「つばたイングリッシュチャンネル」を6回配信した。</p> <p>児童・生徒の英語活動への興味・関心を高めることができる、効果的な活動の実施に努める。</p>	

重点施策		取組	実績・今後の方向性	評価	
		③石川工業高等専門学校と連携した国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の日本家屋訪問事業(中止) ・留学生の土曜学習プログラムへの参加(中止) 	<p>石川工業高等専門学校の新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、留学生の町事業への参加が不可となったため、予定していた各種事業を中止した。</p> <p>国際理解の推進につながる石川工業高等専門学校との連携事業を検討していく。</p>	
(3) 国際交流活動と多文化共生事業の推進		①国際交流ボランティア等を活用した事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流ボランティアの国際交流事業への参加 ・国際交流ボランティアの多文化共生事業への参加 	<p>例年、国際交流ボランティアが参加している、小学生を対象とした土曜学習プログラムや姉妹校交流事業等が中止となったが、新たに実施した英語学習動画「つばたイングリッシュチャンネル」への出演や多文化共生事業への参加等、事業の充実に努めた。</p> <p>引き続き、国際交流ボランティアの幅広い活用方法を検討していく。</p>	B
		②広域的な国際交流活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・石川中央都市圏での連携事業の実施(1回) ・国際交流サロン(1回、41人参加)、にほんごカフェ(2回、延22人参加)、地球人講座(2回、延30人参加) 	<p>石川中央都市圏での連携事業として、金沢市主催のイベント「カーフリーデーin kanazawa2020」にて国際交流ブース出展に参加した。</p> <p>国際交流員による、国際交流サロン、にほんごカフェ、地球人講座などを開催し、外国や日本の生活・文化・言語等を楽しく学び理解を深める機会となった。</p> <p>石川中央都市圏内の国際交流事業に積極的に参画するとともに、子どもから高齢者まで、外国人と町民が気軽に楽しく交流できる場の提供に努める。</p>	

重点施策		取組	実績・今後の方向性	評価
2 確かな学力を身に付け、 個性や創造性に富む人づくり	(1) 児童生徒の学習環境の充実	①教育センター事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修の実施 ・教育相談、支援体制などの充実 ・関係機関との連携による生徒指導サポート <p>学力向上研修や今日的課題に基づく研修など、年間 10 回の研修を実施した。(計画は 13 回だったが、感染症対策のため 3 回は中止とした。) また、町教育委員会訪問を各学校年 3 回実施し、授業改善のための指導助言を行った。</p> <p>保護者の相談等にていねいに対応し、必要に応じて学校や関係機関につなぎ、児童生徒とその家族をサポートできる体制づくりに努めた。</p> <p>さまざまな問題を抱える児童生徒について、学校以外にも、町青少年育成センターや警察などの関係機関とも必要な情報を共有し、理解に努めた。</p>	A
		②小中学校における ICT 機器の整備促進とプログラミング教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒用端末及び教員指導用端末の整備 ・全小中学校への学習系ネットワーク環境の再構築 ・ICT 機器を活用した学習活動の環境整備 ・プログラミング教育の充実 <p>GIGA スクール構想による児童生徒用 1 人 1 台端末及び教員指導用端末の整備とあわせて、学習系ネットワーク回線を再構築し、全小中学校で高速大容量の通信ネットワークを利用できる学習環境の整備を行った。</p> <p>小学校で令和 2 年度から必修化されたプログラミング教育について町統一のカリキュラムを作成し実践することができた。ICT 支援員を活用しながら、3 年生以上の総合的な学習の時間・各教科において、年間 5 時間程度実施することができた。</p> <p>GIGA スクール構想による児童生徒用 1 人 1 台端末と高速通信ネットワークの環境整備が整い、今後は整備計画に基づき、教員指導用の ICT 端末の整備を進め、GIGA スクール構想に対応した学習活動の充実に努める。また、1 人 1 台端末の貸与や家庭への持ち帰りの際のガイドライン等を明確化する。</p>	
	③並行読書用図書等を活用した児童生徒への読書環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書用図書の充実 ・学校図書館運営支援の強化 <p>定例の学校司書連絡会で各学校の情報交換を主に行い、問題点や改善点等の情報の共有ができた。同時に教科書改訂に伴う不足分の並行読書用図書の選書も行い更なる充実を図った。学校図書館システムの運用により、単元が重なる並行読書用図書に関しても情報の共有をスムーズに行うことができた。</p> <p>今後も、学校と連携し図書館システムネットワークを活用した並行読書用図書の利用促進に取り組む。</p>		
(2) 教職員の指導力向上	①児童生徒一人一人の学力分析に基づいたきめ細かな指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修の実施 ・学力調査の結果を生かした授業改善 <p>教育センターの研修で優れた技術をもつ教職員の授業を若手教職員が参観することで、教職員の指導力向上につなげることができた。</p> <p>コロナ禍の影響で学力調査が中止となったが、12 月と 3 月に学力調査を実施し、町独自で結果分析を実施した。</p> <p>学力調査の結果を分析し、それをもとに学力向上プランに生かし、各校で確実に授業改善の取組を行っていけるようにする。</p>	B	

重点施策	取 組	実績・今後の方向性	評価	
	②学力向上、指導力向上に向けた推進体制と学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上サイクルの質の向上と定着 	学びのロードマップ及び学力向上プランは検証問題の分析に基づき、内容を焦点化し取り組むことができた。 学力向上のための取組を組織的かつ継続的に推進できる体制づくりを、町全体の取組として推進していく。	
	③新教育課程の円滑な実施のための教員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上研修の充実 ・教育課程の整備 	指導力向上のための研修を行い、実践的な研修を実施することができた。また、プログラミング教育の充実に向けた教育課程を整備した。 G I G Aスクール構想の充実に向けた教職員の指導力向上のための研修等を実施していく。	
	④小学校から中学校へとつながる英語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・語学指導教職員配置 ・効果的な授業研究の研修 	A L T3名と語学指導協力員2名の計5名を町内の全小中学校に派遣し、英語教育の充実を図った。 また、小中学校の英語担当教員を対象に、英田小学校6年の授業参観を実施し、教職員の指導力向上に寄与した。 英語学習で身につける能力や技能を指標化したCAN-DOリストの評価方法については見直しを図る必要があり、今後も、小中学校での外国語活動・外国語科の授業の進め方について、教職員間で共通理解を図れる研修を計画していく。	
(3) 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携推進	①子どもの育ちと学びをつなげる幼・保・小・中連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区ごとの年間計画にもとづく幼保小連携事業の推進 ・中学校区ごとの年間計画にもとづく小中連携事業の推進 ・幼保小中の全体研修会の実施 	幼保小連携事業においては、小学校区ごとの連携事業協議会を実施した。小中連携事業においては、各中学校が中心となり、小中で一貫した指導を目的とした「あいさつ」の取組、家庭への働きかけを目的とした「メディアコントロール」の取組、小学生の中学校体験、中学校教員による小学校出前授業などを行った。また、小学校の担当教員や幼保こども園の教職員を対象に、幼稚園の参観と園長による「日々の振り返りをもとにした教育課程の見直し」について講話研修を実施した。 感染症予防に努めながら、幼保小中の教員等が一堂に会する全体研修会を継続し、子どもの実態や指導法についての情報を共有し、指導力向上を図っていく。	B
(4) 共生社会形成のための特別支援教育の推進	①児童生徒一人一人の教育的ニーズに配慮した特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修の実施 ・児童生徒の状況把握と支援 ・就学相談と就学支援 	特別支援教育の推進と教職員の指導力向上を図るため、小中学校の特別支援学級担任を対象に、町内特別支援学級担任による授業公開及び県の指導主事による「特別支援学級教育課程の適切な実施に向けて」の研修を実施した。また、特別支援教育支援員を対象とした計2回の研修(3回実施を予定していたが、感染拡大防止の観点から1回中止となった)を実施した。 通級指導教室の開設に向け、先進校の視察を行うなど準備を進めた。 配慮が必要な児童生徒の状況について、毎月及び随時の報告により各学校と情報を共有し、個に応じたサポートにつなげていく。	A

重点施策		取 組	実績・今後の方向性	評価
3 道徳心をはぐくみ、心豊かで活力のある人づくり	(1) 子どもたちの健やかな心と体の育成	①家庭・地域とともに児童生徒の健やかな育ちをめざす心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> グッドマナーキャンペーン 延べ2,177人 学校地域連携事業 全校区実施 子ども郷土史講座 6校区実施 <p>9月1日からの1週間、グッドマナーキャンペーンを実施した。各学校や各鉄道駅で各種団体が参加し、あいさつ運動を行い、心の教育を推進する気運を高めた。 学校地域連携事業として、学校にいろいろな知識や技能を有する地域の方をゲストティーチャーに迎え、教育内容の充実を図り、地域との連携を深めることができた。(お菓子作りや野鳥観察を実施。) 子ども郷土史講座では、津幡小学校で「津幡町禁酒の学校」、条南小学校で「河北潟の歴史」など、津幡町の郷土史について、地域の方を講師に小学校で講座を開き、郷土への理解と愛着を深めた。</p> <p>引き続き、地域の方や関係団体の協力を得ながら、さまざまな活動をとおり、豊かな心を育む事業を実施する。</p>	B
		②考え、議論する道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「特別の教科道徳」を中心とした道徳教育の推進 <p>「特別の教科道徳」の指導の在り方について、各学校に適切な情報提供を行うことができた。しかし、道徳の評価方法については各校で課題がみられるため必要に応じて助言していく。</p> <p>考え、議論する道徳授業の展開に必要な発問の工夫や評価方法の工夫などの研修を今後も計画し、道徳教育の推進を図っていく。</p>	
		③いじめを見逃さない風通しのよい学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 「津幡町いじめ防止基本方針」等に基づく指導や対応 児童生徒の情報共有と学校サポート いじめ防止のための組織の見直し <p>「津幡町いじめ防止基本方針」「学校いじめ防止基本方針」に基づいた指導や対応を行い、「いじめを許さない・風通しのよい学校づくり」に努めた。 町校長研修会や町生徒指導部会等において、改正「いじめ防止対策推進法」に基づく「いじめの定義・認知」について確認し、学校におけるいじめの把握の精度が高まるようにした。各学校がいじめや問題行動に対して早期発見・早期対応の重要性を意識し、これまで以上にアンテナの高い見取りができたことで、連携した対応ができた。 小中学校におけるいじめの発生状況等について、毎月及び随時の報告により各学校と情報を共有し、個に応じたサポートにつなげた。 いじめの防止の取組強化のため、改定された「津幡町いじめ防止基本方針」に沿って、津幡町としての組織体制を見直し、「津幡町いじめ問題調査委員会」を新たに設けた。</p> <p>「津幡町いじめ防止基本方針」に基づいた、いじめを見逃さない風通しのよい学校づくりに引き続き努める。</p>	
		④児童生徒の体力と運動能力の向上につながる体育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 体力アップ1校1プランやスポチャレいしかわの取組の推進 <p>体力テストの分析をもとに各校でつきたい力を向上させる運動の取組を工夫して実施できた。また、休み時間でも楽しみながらできる運動遊びを各校で工夫して実践することができた。 コロナ禍の影響で、小学校体育大会や器械運動交歓会が中止となった。</p> <p>感染症対策をしながら、校内でできる器械運動発表会など運動技能にかかわるような発表会を工夫して実施し、体力の向上を図る。</p>	

重点施策	取 組	実績・今後の方向性	評価
(2) 青少年の健全育成と青少年を取り巻く環境の整備	①学校における生徒指導の充実と関係機関と連携した児童生徒支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な人員等の活用による学校内の相談体制の整備 ・学校以外の関係機関と連携した児童生徒支援 <p>スクールカウンセラー、生徒指導サポーター、スクールソーシャルワーカー等による相談の実施や、状況に応じて関係機関につなぐなど、よりよい支援が受けられる体制を整えた。</p> <p>小中学校においては、生徒指導主事を中心に、生活アンケートの内容や方法を見直しながら児童生徒の心のケアに対応できるようにした。</p> <p>また、中学校においては不登校生徒への個別の生徒指導や学習指導及び担任教員等のサポートができる専門の指導員として、学校生活指導員を配置している。</p> <p>児童生徒が抱える複雑化かつ多様化している課題について支援するため、福祉部局などさまざまな関係機関との連携を一層深めていく。また、次年度以降の学校生活指導員の増員についても検討する。</p>	B
	②青少年育成センターと関係機関が連携した青少年の健全育成活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成センター事業（定例街頭指導、特別巡視など、青少年健全育成標語募集） ・豊かな心を育む津幡町民会議、町生徒指導部会等との連携 <p>毎月第3金曜日に青少年育成センター育成員（各校区PTAなど）と駅やショッピングセンターで街頭指導を実施した。つばた祭が中止となったため、特別巡視も中止とした。</p> <p>各小中学校児童生徒に標語を募集し、入賞した13作品を11月に表彰し、青少年健全育成の啓発を図った。</p> <p>今後も関係機関との連携を深め、地域で見守る青少年の健全育成活動の充実を図っていく。</p>	
	③郷土愛の醸成とコミュニケーション能力を向上させる取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生国内派遣事業（中止） <p>小学6年生を対象とした、災害時相互応援協定を結んでいる福岡県岡垣町への派遣を3泊4日の行程で準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</p> <p>事前研修での津幡町の学習と、派遣期間中や事後研修での復習をとおして歴史や文化への理解を深めるとともに、自立心や協調性を養うことができる派遣事業を、今後も継続して進めていく。</p> <p>平成26年度から始まった当事業は多くの児童を派遣し、ふるさと津幡への認識を深めてきた。今後、小学生として本事業に参加した経験のある成人の引率者起用を検討する。</p>	

重点施策		取組	実績・今後の方向性	評価	
4 安全で安心できる教育環境づくり	(1) 教育環境及び教職員の労働環境の向上	①校務支援システムや外部人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> 校務支援システムの活用 スクールサポートスタッフや部活動指導員の活用 	<p>教職員の多忙化改善の取組の一環として、校務支援システムを利用し、各種帳票様式の確認などを行った。また、部活動指導員を中学校2校に配置、スクールサポートスタッフを前年度から5名増員し合計8名にて全小中学校へ配置した。スクールサポートスタッフは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための校内消毒作業等の業務量増に効果的に活用し、教職員の多忙化改善につなげた。</p> <p>校務支援システムについては、教職員の活用が定着するよう、必要な研修やサポートを今後も継続していく。また、次年度以降の部活動指導員やスクールサポートスタッフの増員についても検討する。</p>	A
		②安全・安心な学校給食の提供と運営の効率化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な学校給食施設の整備と運営 	<p>教育施設の点検を継続して行うことで問題点を把握し、良好な教育環境の維持に努めた。</p> <p>費用対効果を考慮した適正な修繕・更新に努めながら、策定した長寿命化計画を基に、施設機能の統廃合を含めた検討を行う。</p> <p>スチームコンベクションや衣類乾燥機を導入し、調理時間短縮や衛生管理向上に努めるなど、各所給食施設の整備を推進し、安全安心な学校給食施設整備に努めた。また、萩野台共同調理場は、順調な運営ができた。</p> <p>安全安心な学校給食施設の整備を引き続き推進するとともに、共同調理場の給食会計や事務的な業務の安定した運営を行う。また、他の学校給食施設及び給食調理員配置の合理化について、引き続き検討する。</p>	
	(2) 安全・安心な教育環境の整備	①計画的な教育施設の修繕	<ul style="list-style-type: none"> 条南小学校厨房用給湯設備改修工事 津幡南中学校プールろ過装置修繕工事他 	<p>教育施設の点検を継続して行うことで問題点を把握し、良好な教育環境の維持に努めた。</p> <p>費用対効果を考慮した適正な修繕・更新に努めながら、策定した長寿命化計画を基に、施設機能の統廃合を含めた検討を行う。</p>	
		②安全・安心な学校給食の提供と運営の効率化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な学校給食施設の整備と運営 	<p>スチームコンベクションや衣類乾燥機を導入し、調理時間短縮や衛生管理向上に努めるなど、各所給食施設の整備を推進し、安全安心な学校給食施設整備に努めた。また、萩野台共同調理場は、順調な運営ができた。</p> <p>安全安心な学校給食施設の整備を引き続き推進するとともに、共同調理場の給食会計や事務的な業務の安定した運営を行う。また、他の学校給食施設及び給食調理員配置の合理化について、引き続き検討する。</p>	

重点施策		取 組	実績・今後の方向性	評価	
5 学びと創造に満ちた社会環境づくり	(1) 地域の教育資源を生かした生涯学習の推進	①多様化する住民のニーズに応える生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・成人教育、少年教育、女性教育、芸術文化活動 	<p>町民大学講座については、前年度に分野の見直しを行ったが、さらに開講式に併せ、参加者の参加意欲を高めるため、1年分の講座の日時、内容などを分野毎にまとめた年間スケジュールを作成した。</p> <p>情報社会講座において、プログラミングの仕組みやその可能性を学ぶため、初歩のプログラミング講座を開いた。</p> <p>情報化社会における、町民のライフスタイルや価値観の多様化に対応しながら各種事業を企画し、広く各世代の方が生涯にわたり興味関心のあることを学ぶことができる学習環境づくりに努める。</p>	B
	(2) 公民館を拠点とした社会環境づくりの推進	①関係機関と連携した運営と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地区くらし安心ネットワークへの参画 	<p>地区くらし安心ネットワーク委員会の役員として公民館館長が、委員として公民館主事が参画し、ウォーキングや昔の遊び体験などの活動に対する支援を行った。</p> <p>地区社会福祉協議会（仮称）設立の動向に応じ、引き続き、担当部局への助言や補助を行っていく。</p> <p>本年度は自主避難所の開設はなかったが、いつ避難所開設になっても問題がないよう、情報の共有や施設の整備に努める。</p>	B
	(3) 豊かな情操を養う芸術文化活動の充実	①地域の文化芸術団体との協働による子どもから大人まで参加できる芸術文化活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜学習プログラム（絵画、日本舞踊、和太鼓、絵手紙、合唱 計173人参加） ・町少年少女美術展（出品数211点） ・町文化展覧会（出品数498点） ・「輝け！シグナス芸能祭」（中止） ・「シグナス合唱の祭典」（中止） ・「シグナス・ウインド・オーケストラ（吹奏楽）定期演奏会」（中止） 	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先にし、実施できる文化事業のみを行った。舞台芸能や合唱等はほとんどが中止あるいは規模を縮小して行った。芸術創造や展覧会等については、町文化協会と協働し、土曜学習プログラムの一環である体験型文化教室や少年少女美術展など、子どもに対する事業を中心に実施した。</p> <p>感染症対策を最優先にし、町文化協会等と協働して今後もさまざまな事業を工夫して実施し、町民へ芸術文化の普及を行う。</p>	B
		②社会教育施設を拠点とした芸術文化の普及と活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・文化会館自主事業 「ケロボンズおやこコンサート（配信のみ）」（360人利用） 「アンドレ・アンリ トランペットリサイタル」（320人入場） 「杉山清貴・沢田知可子・中西圭三コンサート」（236人入場） など計18公演（うち9公演中止） 	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先にし、実施できる文化事業のみを行った。年度の上半期はほとんどの事業が中止となったが、下半期は良質でバラエティに富んだ自主事業を、共催事業を活用しながら実施し、町民の文化振興に寄与することができた。</p> <p>感染症対策を最優先にし、町民のニーズに合った幅広い文化事業を工夫して実施し、町民へ芸術文化の普及を行う。周知や宣伝方法を工夫し、多くの集客を目指す。収容数を50%にする等の感染症対策が必要な状況だが、安全面・収支面・内容面でバランスの良い企画ができるよう努める。</p>	

重点施策		取組	実績・今後の方向性	評価
	③安全で快適な文化会館の利用のための計画的な施設整備の実施	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館施設整備（多目的室空調機・調光電源室システムエアコン修繕等） 感染症対策の実施（館内抗菌処理・ホール座席カバー購入等） 	<p>長期的な施設整備計画に則り、定期的な法定点検及び自主点検を実施した。修繕箇所については迅速な修繕に努めた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ホール内座席をはじめ、館内施設の抗菌処理を実施した。大きな事故や利用者への支障もなく、順調な運営ができた。</p> <p>会館年数が16年となり、様々な部分の修繕や交換が必要になっている。より一層、入念な点検と計画的な整備を行う必要がある。また、感染症対策について、不測の事態に備えられる準備を行い、近隣の文化会館との情報交換を積極的に行っていきたい。</p>	
(4) 良質な図書館サービスの推進	①読書に親しむ機会の提供と読書環境の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> 図書館招待事業（延296人参加） 図書館資料巡回配達事業（9回） 感染症対策の実施（図書消毒機購入・椅子座面張替） 	<p>コロナ渦ではあったが、町内全ての幼稚園、保育園、こども園5歳児を招待し、図書館や読書への興味・関心を高めることができた。また、図書館資料巡回配達事業でも町内全ての幼稚園、保育園、こども園に図書館お勧めの絵本50冊を定期的に配達し、園児への図書が身近にある環境をつくることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、図書消毒器の購入、経年のため劣化した閲覧席の椅子座面の張替及び抗菌処理を行い、安全安心な読書環境整備に努めた。</p> <p>今後も事業内容に変化を持たせながら取組を継続実施していく。</p>	A
(5) まちなか科学館を拠点とした科学教育の推進	①科学に関する知識の普及・啓発の推進及び施設機能の再整備	<ul style="list-style-type: none"> 土曜学習プログラム「児童科学クラブ教室」（中止）、「科学館科学実験・工作教室」（23回、延969人参加） 出前講座（16回、延400人参加） 「こども科学館」オープンに向けた施設内整備 	<p>まちなか科学館では、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、利用者のニーズに対応した各種教室を開催した。また、幼稚園・保育園・小学校等への出前講座を実施し、幼少期から科学とふれあう機会を提供した。</p> <p>令和3年4月の「こども科学館」オープンに向け、プログラミング教材等の科学教材備品の充実を図るとともに、館内施設の機能向上を図った。</p> <p>今後も「科学のまち・つばた」を広くPRし、より多くの子どもたちに科学を体験してもらえる講座等を企画していく。</p>	B
	②企業や石川工業高等専門学校等の高等教育機関と連携した科学教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 企業、石川工業高等専門学校と連携したプログラミング教室の開催（1回、28人参加） WRO Japan 2020小学生部門出場へ向けた土曜学習プログラム開催（中止） 「科学の祭典」への地元企業等の出展（中止） 	<p>企業と連携し、「親子ふれあい科学教室」でプログラミング教室を実施した。</p> <p>WRO Japan 2020大会の中止、及び石川工業高等専門学校の新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、各種連携事業を中止した。</p> <p>「科学の祭典」では、感染症対策を最優先とし、地元企業や学校等の出展は行わず、ホール及び科学館イベントのみの開催とした。</p> <p>企業、石川工業高等専門学校等と連携したプログラミング体験や科学実験教室などを開催し、科学教育の推進を図る。</p>	

重点施策	取 組	実績・今後の方向性	評価	
6 スポーツを通じた地域の活性化と健康・体力づくり	① スポーツ活動をおとした相互交流及びコミュニケーションづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 小学生スポーツ交流事業 	<p>災害時相互応援協定を締結している和歌山県上富田町との交流は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</p> <p>今後もスポーツ活動をおとした地域間交流を続け、相互の競技力向上及び児童のコミュニケーション能力や社会性の育成につなげる。</p>	B
	② (一社) 津幡町体育協会と協働した生涯スポーツの普及と地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会の開催、応援 小学生を対象としたスポーツ体験教室(土曜学習プログラム)の開催(7回、延212人参加) 高齢者向けスポーツ教室の開催(28回、延230人参加) 	<p>各種スポーツ大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたが、感染対策をしながらスポーツ・レクリエーション祭は開催した。将来の夢を広げ、小学生の健全な育成を図ることを目的としたスポーツ体験教室(土曜学習プログラム)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数を減らし実施した。</p> <p>同様に、高齢者の体力づくりや生きがいづくりを目的とした、高齢者向けのスポーツ教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数を減らし実施した。</p> <p>地区体育協会や地区公民館との連携を深め、ジュニアからシニア世代まで気軽に楽しめるスポーツのさらなる浸透に努めていく。</p>	
(2) スポーツ団体の活動支援や運営体制の整備推進	① (一社) 津幡町体育協会と協働したスポーツクラブの育成と活動支援及び指導者の養成	<ul style="list-style-type: none"> 指導者養成講習会の開催(4回、延111人参加) 全国大会出場補助金、奨励費の支給 	<p>適切なスポーツの指導・助言及び相談を行うために必要な知識・技能を習得できるよう指導者養成講習会を開催した。</p> <p>ジュニアスポーツクラブに所属している児童及び指導者に対し、全国大会などへ出場した場合に補助金や奨励費を支給し、ジュニアスポーツの育成に努めた。</p> <p>(一社) 津幡町体育協会と協働し、スポーツクラブへの指導、助言及び相談を継続し、指導者の養成と競技者の育成に努める。</p>	B
	② 計画的なスポーツ施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 運動施設の整備 運動器具の充実 運動公園施設長寿命化計画の作成 	<p>町テニスコートの部分改修を行い、利用者の快適で安全な環境の提供に努めた。</p> <p>スポーツ振興くじ助成金を活用し、運動公園陸上競技場のフィニッシュレコーダーを更新した。また、老朽化が進んでいた総合体育館の卓球台を更新した。</p> <p>都市公園担当課と連携し、運動公園施設の長寿命化計画を作成し、令和3年度からの計画に向けて継続して取り組む。</p> <p>老朽化しているスポーツ施設の安全性、機能性の確保のため、運動公園施設長寿命化計画を策定し、施設改修や機器を更新する際には助成金等を活用するなど、さまざまな面から効果的、効率的な維持管理に努める。</p>	

重点施策		取組	実績・今後の方向性	評価	
	(3) 地域に根ざしたスポーツの振興	①伝統スポーツを生かした地域交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全国選抜社会人相撲選手権大会の伝統を次代につなぐ ・みどりとボートのまちを推進 	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国選抜社会人相撲選手権大会及びつばたレガッタは中止とした。</p> <p>安土・桃山時代が起源といわれる八朔大相撲を継承した全国選抜社会人相撲選手権大会は、日本相撲連盟公認のタイトル戦として、全国から選抜された強豪が集結し、名誉ある内閣総理大臣杯をかけて争う伝統ある大会となっている。</p> <p>みどりとボートのまちを担うつばたレガッタは、町のシンボルスポートとして広く町民に親しまれている。</p> <p>地域に根差した伝統あるそれぞれのスポーツを活かし、今後も地域交流の推進を図る。</p>	B

重点施策		取組	実績・今後の方向性	評価	
7 地域と共に歩む絆づくり	(1)家庭教育の充実と推進	①家庭教育力の向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 親子の手紙 少年の主張石川中央地区大会 	<p>家族の話し合いを大切にし、親子が互いの気持ちを理解することができるよう、親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」を募集し、心の教育の充実を図った。</p> <p>「少年の主張石川中央地区大会」では、中学生が日常生活での体験や考えを自分自身の言葉でまとめ、それを発表することにより、中学生世代における社会参加意識の醸成を図るとともに、多くの大人に現代の中学生への理解が深まった。</p> <p>引き続き学校・家庭・地域と連携し、子どもたちの心や体の健やかな成長に努める。</p>	B
	(2)地域コミュニティづくりの推進と社会教育の充実	①関係機関や地域住民との連携・協働による地域コミュニティづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 町づくり美化大作戦 (6月中止、10月実施) 社会体育大会 (全地区中止) 社会教育委員会議 	<p>社会教育関係団体と協働し、町づくりの一環として全町民を対象に環境保全と美化作業を行う「まちづくり美化大作戦」を10月に実施した。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため6月は中止)</p> <p>春に5地区(中条、井上、英田、河合谷、笠井)秋に4地区(津幡、笠野、刈安、萩野台)の社会体育大会を実施予定だったが新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため中止とした。</p> <p>郡市社会教育委員連絡協議会のなかで各市町の公民館の現状を調査し、管理運営などの違いについて研修した。</p> <p>美化意識や健康の向上を図るだけでなく、異世代が協働して参画することで世代間交流や地域住民のつながりを深めるため事業の継続に努めていく。</p> <p>社会体育大会は地域コミュニティづくりに欠かせない行事の一つである。新型コロナウイルス感染症対策を考え、違った形での開催に努める。</p> <p>社会教育委員会議では、各地区公民館の現状と課題から今後の公民館のあり方を調査研究し、公民館を拠点とした地域コミュニティづくりを進めていく。</p>	B
		②土曜学習等による地域の人々との交流及び学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教育推進事業 (R1年度 387回、延6,454人参加) (R2年度 189回、延2,931人参加) 	<p>8月まで活動を中止したが、生涯学習センター、公民館、児童センターで、地域の方の協力を得て、平日の放課後、土曜日、長期休暇に放課後子ども教室を実施した。</p> <p>安全対策や感染対策の動向に左右されるが、今後も地域の人材を活用したさまざまな事業を実施し、子どもたちの安全安心な居場所と活動を提供していく。</p>	
		③地域の実情に応じた学校支援活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみの学校支援推進事業 (学習支援 R1 271時間 R2 240時間) (地域支援 R1 274時間 R2 289時間) 	<p>学習遅延傾向の児童・生徒を支援することができた。また、学習補助や環境整備を担うことで、教員の負担を軽減することができた。</p> <p>今後も地域の方の協力を得ながら、学習支援や地域支援活動の充実を図っていく。</p>	

＜令和2年度に行った新型コロナウイルス感染拡大防止のための取組＞

施 設	取 組 内 容
小学校9校 中学校2校	<ul style="list-style-type: none"> ・水道蛇口改修（自動式・レバー式） ・非接触式体温計・サーモグラフィ設置 ・マスク配布（夏用マスクを町内小中学生に2枚ずつ配布） ・消毒液・衛生用品等購入 ・校内通信ネットワーク整備 ・1人1台パソコン及び周辺機器等整備 ・スクールサポートスタッフ配置（2学期から5名増員し、計8名配置） ・学校臨時休業の給食中止に伴うキャンセル料負担 ・検診器具滅菌委託 ・コロナ禍の学校における学びの保障のための対策（借上バス増便、教材備品購入等）
つばた幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・水道蛇口改修（自動式・レバー式） ・非接触式体温計設置 ・消毒液・空気清浄機・自動手指消毒器等購入
文化会館「シグナス」	<ul style="list-style-type: none"> ・水道蛇口改修（自動式・レバー式） ・施設内抗菌コート、ホール座席カバー購入 ・消毒液・自動手指消毒器・非接触式体温計等購入 ・ライブ配信コンサートの実施 ・ロビー使用時間・人数の制限 ・利用者名簿管理
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内抗菌コート、閲覧席椅子座面張替え ・サーモグラフィ・飛沫防止パーテーション設置 ・消毒液・衛生用品等購入 ・図書消毒機購入 ・学習スペース使用時間・人数の制限
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・水道蛇口改修（自動式・レバー式） ・消毒液・飛沫防止パーテーション等購入 ・利用者名簿管理
津幡ふるさと歴史館	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫防止パーテーション設置 ・消毒液・非接触式体温計等購入 ・利用者名簿管理
体育施設 総合体育館 運動公園体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・水道蛇口改修（レバー式） ・飛沫防止パーテーション設置 ・消毒液・自動手指消毒器・空気清浄機等購入 ・利用者名簿管理
まちなか科学館	<ul style="list-style-type: none"> ・非接触式体温計・サーモグラフィ・飛沫防止パーテーション設置 ・消毒液・衛生用品等購入 ・入館者の人数制限 ・利用者名簿管理

6 外部評価委員の意見

- ・GIGAスクール構想における児童生徒用1人1台端末の整備について、家庭へ持ち帰っての学習活動では、Wi-Fi環境等で各家庭での利用状況に差が生まれないよう配慮し、コロナ禍でのリモート学習等も含め、今後の幅広い活用を期待する。
- ・図書館システムネットワークを活用し、公共図書館と学校の連携による相互貸借等の体制を充実させるとともに、専門職員である学校司書の全校常勤配置を期待する。
- ・グッドマナーキャンペーン等で挨拶指導や交通安全指導を行っているが、小中学生の登下校のマナーについて、各校区で差がみられる。学校での指導や各家庭の交通安全に対する理解と関心を深めることも重要であるが、地域の見守り、声かけが大きな役割を果たしていると感じている。各地域の見守りの担い手の裾野を広げる取組が必要であると考えられる。
- ・コロナ禍が長期化し、児童生徒も少なからずストレスを抱えていると思われる。児童生徒のみならず、教職員も含め、スクールカウンセラー等による継続的な心のケアをお願いしたい。
- ・いじめについて、早期発見・早期対応のためのアンケート実施、その際の配慮等は工夫をしながらできている。いじめられている側もいじている側も声をあげにくく、大変難しい問題ではあるが、子どもたち、保護者が抵抗なく相談できる体制を整備し、定期的に体制を点検するなど、いじめの未然防止・早期発見に努めていただきたい。
- ・コロナ禍に災害が起こった場合の公民館での避難所開設について、体調不良者、要介助者等への対応も含め、平時の事前準備、訓練が重要であると考えられる。訓練をシニアクラブの交流会に併せて行う等、地域の防災士と連携し、地域の実情に合った取組を行うことで、町民の防災意識がより高まることを期待する。
- ・コロナ禍で各種スポーツ大会等が中止となっているが、オンラインでの開催やアプリを使った新しい試み等、工夫次第でコロナ禍でも町民が参加できるイベントを実施できるのではないと思う。今後、このようなイベントを開催していくには、デジタル分野の専門的知識を有する人材が必要と思われる。
- ・評価方法について、評価の判断基準がわかりづらい。各施策に成果指標を設定できないか検討してほしい。
- ・河合谷地区の文化を活かしたプログラムが体験できる、河合谷宿泊体験交流施設「河愛の里 Kinschule (キンシュール)」が新たにオープンした。今後、町内の小中学生の学びや研修、スポーツ合宿などにも有効活用してほしい。
- ・コロナの影響により、修学旅行や運動会等、子どもたちが楽しみにしていた多くの学校行事が中止、縮小となったが、子どもたち自らが代替行事を企画するなど、各校での創意工夫が見られた。コロナ禍の長期化が予想されるが、行事に限らず、日々の学校生活が充実したものとなるよう、町としてのサポートを引き続きお願いしたい。
- ・コロナの影響で、子どもたちが家庭で過ごす時間が多くなっているが、各家庭の状況はさまざまである。学校と地域、関係機関が連携し、支援を必要とする家庭への支援体制を強化していただきたい。

資 料

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（事務の委任等）

第 25 条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。
 - (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。
 - (2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。
 - (3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
 - (4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
 - (5) 次条の規定による点検及び評価に関すること。
 - (6) 第 29 条に規定する意見の申出に関すること。
- 3 教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第 1 項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。
- 4 教育長は、第 1 項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第 1 項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

津幡町教育委員会外部評価委員会設置規程

(設置)

第1条 この規程は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第2項の規定に基づき、津幡町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の教育に関する事務、事業の管理及び執行の状況の点検及び評価について、客観性の確保を図るため、津幡町教育委員会外部評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務、事業の点検及び評価に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

- 2 委員は、教育に識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は1年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任することができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(秘密保持)

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。委員の職を退いた後も同様とする。

(報酬)

第7条 委員に対する報酬は、予算の範囲内において別に定める。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会教育部教育総務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか委員会運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この規程は、平成21年6月1日から施行する。